

# 社会科学習指導案

令和元年11月6日(水)

第6学年

## 授業の視点

水平社宣言に込められた思いや願いを考えさせる場面で、グループ活動を取り入れて多様な意見にふれさせたり、ホワイトボードを用いて意見を明確化・視覚化したりしたことは、宣言文に込められた思いや願いを共感的に捉える上で有効であったか。

## I 単元(題材)名 世界に歩み出した日本

### 【重要課題 ⑤同和問題】

## II 単元(題材)の考察

### 1 児童の実態(児童観)

(削除)

### 2 教材について(教材観)

本単元は、学習指導要領の第6学年の目標(1)・(2)及び内容(2)のロに基づいて設定した。

(目標)

- (1) 我が国の政治の考え方と仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割について理解するとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

(内容)

- (2) 我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ロ 大日本帝国憲法の発布、日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などを手掛かりに、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことを理解すること。

本単元では主に日本国民の条約改正への願い、日清・日露戦争による日本と世界との関係や韓国の併合などを調べ、日本の国際的地位が向上したことに気づかせることをねらいとしている。

日清・日露戦争で勝利を収めた日本は、不平等条約の完全撤廃、そして韓国併合へと大陸進出の道を歩き出す。日清・日露戦争を契機として国内の重工業が発展し、国際的地位の向上、国力の充実が見られたが、これらは民衆の苦しい生活や労働条件の上に成り立っていた。さらに中国や朝鮮半島の人々に様々な損害を与え、民族差別などの問題も生じるようになった。第一次世界大戦後は好景気に沸いた

日本であったが、国内の諸物価は高騰し、生活に窮するようになった民衆は政治への関心を高め、様々な民衆運動の高まりが見られるようになる。本時では特に、解放令後も差別され続けた人々が、自らの手で立ち上がり、「全国水平社」を結成し、差別解消に向けての運動を始めたことを取り上げ、人権への意識が徐々に芽生えてきたことを学習する。本時の学習を通して、差別されてきた人々が、自分たちの手で差別解消をつかみ取るために民衆運動を始めたことに共感させ、グループによる意見交換を積極的に行うことを通して、差別をなくそうとする意欲を持たせることにつなげたい。

### Ⅲ 目標及び評価規準

#### 1 目標

日清・日露戦争、条約改正、科学の発展やそれらに関わる人物の働きを理解し、我が国の国力が充実し、国際的地位が向上したことやそれによって人々の生活や社会が変化していったことが分かる。

#### 2 評価規準

- ・日清戦争、日露戦争、条約改正、科学の発展やそれらに関わる人物の働きや、世界の中での日本の立場に関心を持ち、意欲的に調べ、考えながら追究している。

(社会的事象への関心・意欲・態度)

- ・条約改正を求める国民の願いや、日清・日露戦争の勝利で国際的地位が向上した反面、中国への進出や朝鮮半島の支配、それに伴う民族差別などの問題が生じたことに気づき、それに関連する意見をもつことができる。

- ・全国水平社運動について知ることにより、設立の目的や経緯を理解し、差別の不合理に対して立ち上がった人々の行動について考えることができる。

(社会的な思考・判断)

- ・大日本帝国憲法の発布、日清・日露戦争、条約改正、科学の発展などについて、年表や文章資料などの各種の基本的な資料を活用して調べることができる。

(資料活用の技能・表現)

- ・我が国の国力が充実して国際的地位が向上し社会が変化していったことが分かる。

(社会的事象についての知識・理解)

#### 3 指導方針

- ・ノートを取る際には、同じ時代は見開きになるようにさせ、見やすいノートの作成を意識する。
- ・児童の疑問を引き出したり時代の変化を考えたりできるように、資料を精選し提示する。
- ・児童が主体的に取り組むことができるよう、児童の発言からめあてにつなげるようにする。
- ・学習に見通しをもたせるために、「ふれる」過程において、歴史的な出来事の起こりや理由について予想を立てさせる。
- ・児童一人一人の考えを深められるように、グループで意見交流をする場面や全体で考えを発表して学び合う場面を設ける。
- ・グループでまとめた内容が分かりやすいよう、ホワイトボードに書かせ掲示し、明確化・視覚化する。
- ・プロジェクターやパワーポイントを使用することで、黒板の書くスペースを多く使えるようにする。
- ・授業の終わりにまとめの映像を見せるなど、ICTを活用することで興味・関心を高める。
- ・自分の考えを伝えたいくなるような教材の工夫やペアやグループでの意見交流を取れ入れて発言を促していく。
- ・児童の人権意識を高めるために、日頃から教師自身が高い人権意識を持つよう心がける。

#### IV 指導計画（指導と評価の計画）

時	主な学習活動	評価			
		関	思	技	知
1	グラフなどの資料から、明治時代の産業がどう変化していったかに関心を持ち、学習問題を作る。	○			
2	不平等条約が日本に与えた影響や、条約改正にかかわる陸奥宗光の願いや働きを資料や本文から読み取ってまとめる。			○	
3	日清・日露戦争によって日本と世界の国々との関係は、どのように変わっていったのかを考え、まとめる。		○		
4	日本が朝鮮を植民地にするなど勢力を伸ばし、条約改正を果たしたことで欧米諸国と対等な地位を築いたこと、医学などの分野での活躍が日本の国際的地位の向上につながったことを理解する。				○
5	産業の発展の結果、様々な社会問題が起きたこと、人々の民主主義の意識が高まり、様々な民衆運動があったことをまとめる。			○	○
本時 6	民衆運動の高まりの中で、水平社運動が起こり差別解消のために闘う人たちの行動について知ること、水平社宣言に込められた思いや願いについて自分の考えをまとめることができる。		○		
7	本小単元を振り返って、出来事やそれに関わる人物などを新聞形式でまとめる。	○	○		

#### V 校内研修とのかかわり

本校は、「自他の思いや考えを大切にし、よりよい人間関係を育む児童の育成～主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善を中心に～」という主題のもと、校内研修に取り組んでいる。本時では、「全国水平社」について扱うことで、差別の不当さや差別で苦しんだ人々の思いを知り、差別解消のために自ら進んで行動しようとする児童の育成につながると考えた。このことは本校の研修主題である、自他の思いや考えを大切にし、よりよい人間関係を育む児童の育成につながるができる。また、本時の中で、個人で考えた後にグループで発表し合い話し合う活動を取り入れることで、宣言文の意義や、そこに込められた思いについて他者の様々な考えにふれることで、自分の考えを深めることができ、主体的・対話的で深い学びにつながると考える。

#### VI 人権教育とのかかわり

本学級の児童は、同和問題についての正しい理解が不十分であり、自己肯定感の低い児童が多い。身近な人権問題を知ることや自分の価値を認識しつつ他者と協力することの重要性認識することが大切である。そのため、社会科の歴史学習の中で、同和問題についての正しい理解を図ることや、学級での人間関係の育成を図る機会を設ける必要がある。

本単元では、「全国水平社」について扱うことで、差別の不当さや差別で苦しんだ人々の思いを知り、差別解消のために自ら進んで行動しようとする児童の育成や、グループ学習を取り入れることで、互いの良さに気付き他人の意見を大切にできるようにする。

【育てたい能力・態度】

- 感性：差別の不当さを感じ、差別解消のために立ち上がった人々の思いに共感する。
- 知性：差別に関する歴史的事象を正しく理解し、相手の立場に立って考えることの大切さを理解する。
- 実践力：一人一人の意見を認め合いながら、学習課題を解決していこうとする。

Ⅶ 本時の学習

1 ねらい

民衆運動の高まりの中で、水平社運動が起こり差別解消のために闘う人たちの行動について知ること、水平社宣言に込められた思いや願いについて自分の考えをまとめることができる。

2 準備

教師：教科書、資料集、ワークシート（拡大したもの）、プロジェクター、パワーポイント（プロジェクター計画の内容）、ホワイトボード（小）7枚、ホワイトボードマーカー7本  
 児童：教科書、資料集、ノート、ワークシート

3 人権教育の視点

- ・宣言文に込められた思いをつかむ際に、一人一人の意見を大切にしながら、グループの意見をまとめることができる。（共感的理解）
- ・全国水平社の起こりや、その背景を理解し、差別解消のために立ち上がった人々の思いに共感する。

4 展開

<p>学習活動 ○教師の発問（児童の意識）</p>	<p>時間 (分)</p>	<p>○教師の支援及び留意点 ★主体的・対話的で深い学びに関わる手立て</p>	<p>評価項目</p>
<p>1 前時の振り返りをする。 ○産業の発展の裏では、どんなことが起きましたか？ (鉈毒問題・農民運動・普通選挙・労働問題・女性問題・差別問題) ○これらの民衆運動はどんな意識が高まったことで起きましたか？ (民主主義の意識) ○民主主義はどんな考え方ですか？ (人々が自ら政治に参加し、物事を決めていくという考え方)</p> <p>2 荊冠旗を見て、全国水平社について学習することを知る。 ○これはなんでしょう？ (何かの旗？国旗かな？) (どうして全国水平社ができたのだろう。)</p>	<p>10</p>	<p>○様々な民衆運動が広がっていったことを前時のノート等を用いて想起させる。</p> <p>○起きた民衆運動や民主主義の考え方を確認することで、本時も民主主義の高まりの中で起きたことについて考える授業であることを意識させる。</p> <p>○荊冠旗が全国水平社の旗だと教え、学習の関心につなげる。</p> <p>○民衆運動の流れの中で、本時は全</p>	



<p>ことを振り返る。</p> <p><b>まとめ</b></p> <p>(民主主義が高まる中で差別され続けた人々も全国水平社をつくり、差別をなくす運動を広めていった。)</p> <p><b>振り返り</b></p> <p>(解放令後も差別がなくなっていなかったことが分かった。自分たちで勇気を出して立ち上がった人々がすごいと思った。)</p>	<p>○民主主義の高まりの中で、自ら差別解消のために立ち上がったということに気付かせ、児童の言葉でまとめを書く。</p> <p>○全国水平社の運動を進めた人々の願いや気持ちについて、考えたことや感じたことなどを自分なりに表現させる。</p>	<p>ら立ち上がって行動したことに気づき、感じたことをまとめることができる。(ワークシート) <b>愚</b></p>
--	--	---

## 5 プロジェクター計画

<p>(荊冠旗を写す)</p>	<p>(「山田少年の演説」を写す)</p>	<p>(「水平社宣言」を写す)</p>
-----------------	-----------------------	---------------------

# 11/6 世界に歩み出した日本

- 〈**鉱毒問題**〉
- 〈**女性問題**〉
- 〈**農民運動**〉
- 〈**労働運動**〉
- 〈**普通選挙**〉
  - ・国民
  - ・25才以上の全ての男子が衆議院議員の選挙権を持つようになった。
- 〈**差別問題**〉
  - ・差別されてきた人々
  - ・全国水平社
  - ・山田少年

**民主主義** 人々が自ら政治に参加し物事を決めていくという考え方

**めあて** 民衆運動の高まりの中でなぜ全国水平社が創立されたのだろうか？

身分制度による人口比率のグラフ

解放令に関して、人権の重さに関する挿絵

山田少年が演説をしている挿絵

江戸

身分制社会

↓

明治

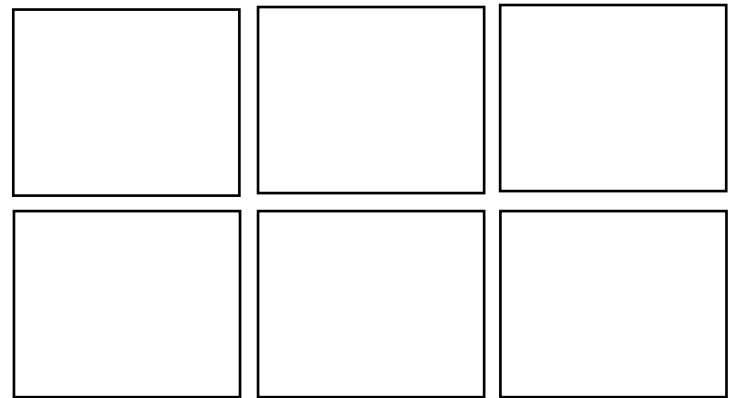
解放令

↓

大正

**水平社宣言**

込められた思い



**まとめ**

民主主義が高まる中で差別され続けた人々も全国水平社をつくり、差別をなくす運動を広めていった。

# 世界に歩み出した日本

名前

○差別の歴史を振り返ろう

## 〈差別の歴史〉

身分制度による人口比率のグラフ

江戸

### 身分制社会

身分が固定化し、身分によって職業や住む場所のほか、税などの負担が決められた。

(教:P83)

解放令に関して、人権の重さに関する挿絵

明治

### 1871年 解放令

「差別されてきた人々の身分を廃止して、これからは身分・職業ともに平民と同じにする」  
・身分上は解放された。

(教:P103)

山田少年が演説をしている挿絵

大正

### 山田少年のうったえ

1922年全国水平社の創立大会での演説

(教:P123)

名前

# 山田少年の演説

名前

〈水平社宣言〉 大正十一（1922）年三月三日 全国水平社創立大会

◎宣言に込められた思いとは？

◎今日の学習で感じたことや考えたことを振り返りましょう。